



# 数理・データサイエンス教育の現状と今後の展望

データサイエンス特別プログラム  
スタート



現状

## 令和2年度

- ★**リテラシーレベル**の数理データサイエンス科目の全学必修化
- ・「**データサイエンス基礎**」開講

- ★**応用基礎レベル**を含めた数理データサイエンス教育の全学的なプログラム化
- ・「**データサイエンス特別プログラム**」の構築



- ★各県の大学コンソーシアムと連携したFDの開催
- 10 機関から87 名が参加**
- ・機械学習・データ科学金沢ミニキャンプ（後援）
- ・データサイエンス教育のカリキュラム・教材及びデータサイエンティストに求められるスキル（主催）

- ★県内他大学との単位互換・公開授業

- ★教材のデジタルコンテンツ化・教科書開発
- ・「情報の科学」オンデマンド教材（英語版）が利用可能

## 令和3年度

- ★**専門基礎レベル**の数理データサイエンス科目の全学必修化
- ・「**学域GS科目**」に必修のデータサイエンス科目を配置

- ★文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定
- ・認定の有効期限：令和8年3月31日まで

数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
リテラシーレベル

MDASH  
Literacy

Approved Program for Mathematics,  
Data science and AI Smart Higher Education



- ★各県の大学コンソーシアムと連携したFDの開催
- 令和3年9月15日14時開催予定**
- ・「データサイエンス」における「気づき」の大切さ

- ★「いしかわシティカレッジ」において以下を開講
- ・シェルスクリプトを用いた「ものグラミングと大規模データ処理」演習
- ・シェルスクリプト言語論
- ・クラウド時代の「ものグラミング」概論



# 数理・データサイエンス教育の現状と今後の展望

データサイエンス特別プログラム  
スタート



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

展望

- ★**専門基礎レベル**の数理データサイエンス科目の全学必修化
- 「学域GS科目」に必修のデータサイエンス科目を配置

展望

データサイエンス教育を今後も充実していく

令和3年度入学者から、文系理系を問わず、全学士課程の卒業要件に専門基礎レベルの「データサイエンス科目」を2単位以上必修とした

## 令和2年度（共通教育科目「1単位」必修）

- 共通教育科目「データサイエンス基礎」1単位必修

## 令和3年度（共通教育科目「1単位」 専門科目「2単位」必修）

- 共通教育の導入科目「データサイエンス基礎」1単位必修
- 専門科目「学域GS科目」からデータサイエンス科目を「2単位以上」必須

### 共通教育科目

導入科目

- データサイエンス基礎



### 専門科目

学域GS科目（専門基礎レベル）

- データサイエンス科目  
※各学域で特色あるデータサイエンス科目を開講



3単位



# 数理・データサイエンス教育の現状と今後の展望

データサイエンス特別プログラム  
スタート



★文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定

- 認定の有効期限：令和8年3月31日まで

数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
リテラシーレベル

MDASH  
Literacy

Approved Program for Mathematics,  
Data science and AI Smart Higher Education



プログラム修了者に「データサイエンス人材」の付加価値を与えることができるようになった。

- プログラム修了者を増やす
- より魅力的なプログラムに育てる

本学の「データサイエンス特別プログラム」とは

- 修了認定にランクを設定
  - 共通教育科目中心の科目群から成る「ブロンズランク」の修了をもって「リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI」を修得可能なカリキュラムとした
  - 学修継続の動機づけとして、専門科目で構成する科目群の単位を修得することによって到達可能な「より上位のランク」を用意した



①「共通教育科目」中心の科目群



数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力を有する人材を育成

②「専門科目」のみで構成された科目群



数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力を、自身の専門領域で深化させ、実社会でより実践的に活用可能な知識及び技術に昇華させた人材を育成



# 数理・データサイエンス教育の現状と今後の展望

データサイエンス特別プログラム  
スタート



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

展望

各県の大学コンソーシアムと連携したFDの開催

令和3年9月15日14時開催予定

- 「データサイエンス」における「気づき」の大切さ



大学でのデータサイエンスの学びを  
実社会に接続する

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」  
「数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及」事業



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

オンラインFD研修会

## 「データサイエンス」における 「気づき」の大切さ

参加定員

100名

(先着順)

ビジネスにおいてデータの集め方はもちろんのこと、その集めたデータをいかに読み解くか、意味を見出せるかという「気づき」が大切だと考えます。  
そのことを「ビジネスでの事例」だけでなく、学生でも親近感を抱けるような、「私の原体験」などを交えながらお話いたします。

9月15日 水

講演 14:00～15:00

質疑応答 15:00～15:30

対象 北陸地区の高等教育機関の学生・教職員

講師紹介

株式会社ジャパンディア代表 伊勢 司 氏



1988年6月10日大阪生まれ

10歳のとき、初めて1ヶ月間のインド旅行を経験する。  
その旅の中で、人や文化の多様さを肌で感じ、それ以降も何度かインドに足を運ぶ。  
2011年、同志社大学商学部を卒業。  
学士論文において『訪日旅行者誘致：インド人旅行者誘致における今後の展望と課題』をテーマとし、自ら1ヶ月間インドでの現地調査を行う。  
それがきっかけとなり、インドのパナールス・ヒンドゥ大学 大学院にてヒンディー語学科および観光経営学科 修士課程に在籍、2015年4月に卒業。



2015年6月、「日本とインド、人をつなぐ」をモットーに株式会社ジャパンディア (JAPAN DIA) を立ち上げる。



<https://forms.gle/AfsSrQPKta34TyZ16>



# 数理・データサイエンス教育の現状と今後の展望

データサイエンス特別プログラム  
スタート



展望

おわりに

• NOT SPECIAL IT'S STANDARD

展望

本学のデータサイエンス特別プログラムのテーマは「**もはやスペシャルではない。すでにスタンダードである。**」です。

「数理・データサイエンス・AI」を日々の暮らしや仕事で使いこなすことは、もはやあたりまえの時代において、データサイエンス教育も「**すでにスタンダードである。**」と言えるよう、今後も内容の充実に努めていきます。

ご清聴ありがとうございました。

